



夜がくると…



★ ヤナギ通りのおばけやしき

ルイス・スロボドキン 作 小宮 由 訳 瑞雲舎 933-ス

子どもたちに「ヤナギ^{どお}通りのおばけやしき」とよばれる家^{いえ}がありました。あるとしのハロウィンのよる、リリーとおとうとのビリーがおばけやしきのまどにあかりがともっているのを見つけ、チャイムをならします。すると、出てきたのは小^こがらなおじいさんでした。そして、ビリーが「いたずらか、おかしか!」とさけぶと、おじいさんは「いたずらだ!」とこたえ、ふたりをまねきいれます。

★ 星どろぼう ★★

アーノルド・ローベル え アンドレア・ディノト ぶん

やぎた よしこ やく ほるぷ出版 E-口

むかし、山^{やま}のてっぺんにひとりのどろぼうがすんでいました。どろぼうは、空^{そら}の星^{ほし}をぜんぶじぶんのものにしたいとおもっていました。あるはれたばん、どろぼうは、はしごをのぼると星^{ほし}たちをポケットとふくろにつっこみ、空^{そら}の星^{ほし}をぜんぶとってかくしてしまいます。つぎのばん、空^{そら}をみあげた村人^{むらびと}たちは星^{ほし}が一つもないので、びっくりします。そして、月^{つき}にわなをかけ、どろぼうをつかまえることにしました。

★ えんの松原

伊藤 遊 作 福音館書店 913-イ

帝^{みかど}が住む内裏^すで、音羽^{おとわ}は女^{おんな}の子^このふりをして暮^くらしていました。ある日、神聖^{ひ しんせい}な賢^{かし}所^{ところ}で、音羽^{おとわ}は次^{つぎ}の帝位^{ていい}を継^つぐ皇子^{みこ}である東宮^{とうぐう}の憲平^{のりひら}と出会^{であ}います。憲平^{のりひら}は夜^よごとえんの松原^{まつばら}からくる怨^{おんりよう}霊^{りよう}におびえていました。音羽^{おとわ}は怨^{おんりよう}霊^{りよう}の正^{しょう}体^{たい}をたしかめるため、夜^{よる}のえんの松原^{まつばら}へ向^むかいます。

おつきさん どうしたの

B.クーニー 絵 E.M.プレストン 文 岸田 衿子 訳

岩波書店 Eーク

こどもたちをねかせて、がちょうのかあさんは、おとなりさんのところへゆきました。ところが、がちょうのちびさんはベッドからとびだして、そとのいけへとやってきます。いけでは、おおきなきんいろのおつきさんに、しろいきつねのくもがしのびより、つきをのみこんでしまいました。ちびさんは、おひゃくしょうさんにしらせようといけをあとにします。

よるとひる

レナード・ワイスガード え マーガレット・ワイズ・ブラウン ぶん

ほしかわ なつよ やく 童話館出版 Eーク

しろいねことくろいねこがいました。しろいねこはひるが、くろいねこはよるがこよなくすきでした。あるよるのこと、くろいねこはしろいねこをおこします。そして、しろいねことくろいねこはそれぞれひるとよるをみせることにしました。

絵のない絵本

H・C・アンデルセン 作 大塚 勇三 訳 福音館書店 949-A

ぼくは、^{わか}若くて^{まず}貧しい^が画家です。この^{まち}町にやってきたころは、ひとりの^{とも}友だちもいませんでした。ある^{ばん}晩のこと、^{そと}外を見ると、^{むかし}昔^{とも}ながらのいい^{つき}友だちの^み月が見えました。それから^{つき}月は、ぼくのところにきてくれるたびに、^み見てきたことを^{はな}話してくれるようになり、ぼくは^{いくばん}幾晩もその^{はなし}話の^え絵をかいたのです。

月のかかく

えびな みつる 絵と文 旬報社 446-E

^{つき}月は、^{ちきゅう}地球のまわりをまわっている^{えいせい}衛星です。そして、^{よぞら}夜空の中でもっとも^{あか}明るい^{てんたい}天体です。^よ夜ごとに^{つき}月は^{かたち}形を^か変え、その^{かたち}形のちがいでいろいろな^なよび名があります。^{つき}月のおもしろさや^{ふしぎ}不思議さの^{りゆう}理由を知って、^{よぞら}夜空に^う浮かぶ^{つき}月を^{たの}ながめて楽しんでみましょう。